

2018年2月 SLA イノベーション WG 活動報告

2018年2月28日

日本クラウドセキュリティアライアンス (CSA ジャパン)

有田 仁

1. WG アウトプットに関する活動

- ・ **WG ミーティング実施**
 - 2018年2月2日(金) 18:00～、於) グランフロント大阪北館内
 - 2018年2月24日(土) 11:00～、於) 千代田区丸の内
- ・ EU 研究フレームワーク **Horizon 2020/SLA-Ready/CRM** ドキュメント(下記リンク)内の第6章(クラスタリング手法の適用)、第7章(スコアによる細分評価)に基づく、**CSP 比較評価モデルの PPT 解説資料**を作成中。進捗状況として、各メンバーに担当割りした PPT 資料作成がほぼ出揃い、次回会合では「考察」部分のディスカッションに移る予定。
http://www.sla-ready.eu/sites/default/files/d2.4_a-common-reference-model-to-describe-promote-and-support-the-uptake-of-slas-final-report_vfinal.pdf
- ・ 公開時期は 2018 年 4 月となる可能性。
- ・ 本成果物は、昨年 5 月 WG 公開の「クラウド SLA の共通参照モデル—ユースケース解説と SME 向け活用法—」を受け、その第二部/応用編としての位置付けを検討。またクラウド SLA の 30 要件や 23 事例の加筆補正も行う。
- ・ **SLA-Ready Web** ページ上の **Repository** (下記リンク) を参照し、定量的な CSP 比較評価や、個人データ保護、サービス性能、サービス信頼性等に関する SLO レベルでのアプローチとする。
<http://www.sla-ready.eu/sla-repository>
- ・ 特定分野(デジタルヘルス、ライフサイエンスなど)の **SME** (中小企業、SaaS スタートアップなど) を代表事例に検討。GDPR 施行を間近に控える中、CSA CCM/CAIQ/STAR もベースにクラウド SLA の包括的な指針とりまとめを目指す。

2. WG 活動基盤拡充に向けた活動

- ・ 特になし(関西エリアの活動についても、引き続き進展を図っていく)

以上